

校内研究だより

町田市立金井小学校

2018年5月30日

研究推進部

6年生国語「討論会をしよう」の研究授業での提案ありがとうございました。

グループ協議では、学級の認め合える雰囲気や授業の中で見えること、先生と子供との人間関係ができてきていることなども含め、たくさんの意見が出されました。

グループ協議会でのみなさんの発言より

※太字は、多数の意見です。

子どもの姿	教師の指導	その他・やってみたい
<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ、データ・体験談等、根拠を明確に主張ができていた。 ・頷きながら話を聞く姿勢（受容） ・一人一人の役割分担が明確で積極的に参加できていた。 ・身近な内容で、全員が経験していることなのでより深まる討論会になっていた。 ・生き生きした姿で全員やる気しか感じられなかった。 ・それぞれの立場で主張できていた。 ・どの子もよく聞こえる声ではっきりと話せている。自信をもっているのだと思った。 ・判定の後自然と拍手が出ていた。認め合いができていた姿。 ・説得力ある表現法を使い、よく話していた。 ・子供たちが自分自身の経験や客観的なデータをもとに自分の考えを伝えていたのは素晴らしい。 ・数回の討論会の中でお互いの良いところを学んでいったことが伝わった。 ・互いの意見をしっかりと尊重し討論していた 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語で学んだことを一般化したり、他教科で活用したりすることを教えていてよかった。 ・全員が話ができるように配慮されている。 ・説得力・本音など先生が初めの確認、終わりの振り返りで大事なポイントを絞って話をしていたとでもわかりやすかったです。 ・最後のまとめで、友達の良い発表の仕方をシェアできて学びが深まる。 ・めあての確認で最後に「自分の考えを広げたり、深めたりする」の意味づけをしているのがわかりやすく良かった。 ・話しながらの板書。テンポの良さ。ポイントを発表し、聞きながら整理している。確認すべき部分と流す部分。最後のまとめで子供の変容を紹介する。グルーピング。子供を見る力が素晴らしい！ ・先生と子供たちとの関係がとてまあたたかい。子供たちが先生の話にまっすぐ目と心と耳を傾けていた。 ・子供の発言に対してコメント力がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に即したテーマ設定なので子供もとらえやすかった。 ・1時間ごとに段階的に活動ができていたので、質問意見がよくできた。 ・自学で調べ学習ができていた。 ・グループが3つに分かれていて、話せる機会UP。話をしていない子もよく聞いて自分の考えを深められている。 ・安心して意見を出し合える環境（学級）である。
<p>質問を考えたたり、迫力のある言い方をした方が勝つのでしょうか？</p> <p>△声の音量は、場面に応じた話し方ができるとよい。</p> <p>質テーマごとにチーム分けをしているのか？決めるポイントは？</p>	<p>質評価（考えの広がり・深まりはどのように見取るか？）</p> <p>質個として自分の考えや意見を述べていたが、チームとしてどのような意見の組み立て（論理）を作っていたらいいか？</p>	<p>△データ資料の出典を明確にして、根拠とする必要がある。</p> <p>質意見の説得力を高めるためには、資料の正統性や妥当性が重要になるが、どのようにしようとしたのか？</p>

講師 千葉 雄二 先生より (小平市立小平第四小学校)

〔討論会の授業で大切にしたいこと〕

- 授業の成功のカギ**⇒テーマが子どもの身近なものでよかった。児童に話し合いたいテーマを聞いてみるのもよい。(目的意識がもてる。)
- 初めの本音～後の本音**⇒児童それぞれの本音が討論後にどのように変容したのかが全員で共有できるように、黒板に名前マグネットを貼り、討論後に動かせるようにする。(変容の可視化)
- スピーチで付けた力**⇒①目線 ②声の大きさ ③表情 ④スピード ⑤間の取り方 ⑥立ち位置 ⑦時間感覚 (これらを6年間で鍛えていく。)
- スピーチの最終形**⇒原稿を見ずにゼスチャーを付けながら、相手の目を見て話す。(できていた児童を振り返りで紹介する。)
- 司会者の質問**⇒中立性をもたせた上で、出典があやふやなところ等を質問させてもよい。(判定基準は、初めに確認しておく。)
- 審判**⇒勝ち負けは、決めなくてもよい。負けた方の良かったところの価値付けも大切。
- グループ分け**⇒①意図的 ②偶発的(多彩に行っていく。立場が人を育てる面もある。)
- 要約・メモする力**⇒3、4年生で要約する力を付けておき、メモするときに生かす。(討論会は、3、4年生から鍛えられる。)
- 活用する**⇒討論会の授業だけでなく、付けた力を他教科、特別活動などの話し合いでも活用していく。クラスに限らず、学年で交流していくのもよい。(発展形)



司会・審判：肯定：否定を4：4：4のグループで挑戦！
スモールステップで1：1：1から始め、全員が意見を言う楽しさを味わえるようにした。



作戦会議。机に固執せず場所を変える等、臨機応変に。話し合いに参加できていない子には、教師が支援を。



事前に自主学習で調べた資料や、グループでたてた作戦で説得力をもたせて考えを述べる。

うまく討論していた児童を紹介して一般化する。個⇒全体⇒個 個人の変容を振り返らせる。

